



経営相談で見つける 成功のヒント



北海道よろず支援拠点が取り組んだ支援事例を紹介します!

北海道よろず支援拠点では、中小企業・小規模事業者が抱える
経営課題の解決に向けたサポートを行っています。



経営相談は
事業成功のヒントを得る
近道である

刊行にあたって

道内15.1万者の事業者のうち、その99.8%を占める中小企業・小規模事業者は、地域の経済や雇用を支える重要な存在です。

経済産業省では、中小企業・小規模事業者に対する経営支援がより一層効果的に行われるよう、「よろず支援拠点」を各都道府県に整備し、支援機関のみなさまとの連携を図りながら、中小企業・小規模事業者が抱える様々な経営課題解決に向けたサポートを行っています。

「北海道よろず支援拠点」では、札幌本部のほか、道内6か所に地域拠点を設置し、中小企業診断士や税理士、弁護士等の有資格者や豊富な企業支援実績を有する専門人材が、創業から売上拡大、経営改善、海外展開等に至るまで、幅広い分野に関するきめ細やかな支援を行っています。

本事業開始以来、道内の中小企業・小規模事業者や創業者から数多くの相談をお寄せいただいております。これらに対する支援のなかで、相談者の目標に共感し「成功に向けた次の一手」を共に考えることを大切にしています。

また、より実効性の高い支援に結びつけ、中小企業・小規模事業者の経営課題を解決するためには、地域の商工団体や金融機関など中小企業支援機関のみなさまと連携し、各々の支援機能を活かした支援を行うことが重要であると認識しています。

本書では、平成29年度に北海道よろず支援拠点が取り組んだ創業や売上拡大、経営改善などの支援事例を紹介しています。

本書が、道内の中小企業・小規模事業者のみなさまの経営活動や、中小企業支援機関のみなさまの中小企業・小規模事業者に対する支援活動にあたって、少しでも参考になることを期待しています。

平成30年3月 経済産業省北海道経済産業局

巻頭インタビュー 相談の文化をつくるために 1

支援事例紹介	(創業)	(売上拡大)	(経営改善)
	株式会社やしの木 3	有限会社白崎菓子店 9	株式会社セラビ 17
	忽布古丹醸造株式会社 4	日乃出食品株式会社 11	晴 café 19
	Sun 5	株式会社まるりょう野澤商店 12	有限会社まさご 20
	Café ねうねう 6	株式会社プロッサム 13	
	Otete to Otete 7	有限会社ラ・レトリなかしべつ 14	
	株式会社北海道農村研究所 8	L'oro rosso 15	
		お肉屋さんたどころ 16	

北海道よろず支援拠点のご紹介 21

北海道よろず支援拠点には、さまざまな専門性をもつコーディネーターとそのコーディネータたちをまとめるチーフコーディネーターが常駐している。本企画では、チーフコーディネーターを務める中野貴英氏に北海道の中小企業について聞いた。



北海道よろず支援拠点 チーフコーディネーター 中野 貴英

巻頭インタビュー

経営相談で見つける 成功のヒント

北海道よろず支援拠点
チーフコーディネーター
中野 貴英

なります。両方上回れば大企業となります。

—北海道よろず支援拠点とは。

よろず支援拠点は、経済産業省の中小企業支援事業として、各都道府県に設けられた無料の経営相談所です。道内では、札幌本部のほか、旭川、函館、釧路、帯広、北見、室蘭の全7カ所で相談業務を行っています。

コーディネーターには、中小企業診断士

や弁護士、金融機関OB、税理士などさまざまな専門家が就いています。

—よろず支援拠点の特徴は何ですか。

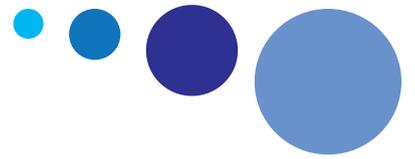
コーディネーターの中には、ITコーディネーター、大手小売業バイヤーOB、野菜ソムリエ上級プロなどの専門家もいて、一般的な相談のみならず、かなり専門的な相談まで拠点の専門家が丸となって支援に取り組めることが強みです。一つの経営相談に多くの専門的な課題が隠れていても、当拠点の専門家同士が連携しあって支援を行うことができます。

業種	中小企業者 (下記のいずれかを満たすこと)		小規模 企業者
	資本金の額又は 出資の総額	常時使用する 従業員の数	常時使用する 従業員の数
①製造業、建設業、運輸業 その他の業種 (②~④を除く)	3億円以下	300人以下	20人以下
②卸売業	1億円以下	100人以下	5人以下
③サービス業	5,000万円 以下	100人以下	5人以下
④小売業	5,000万円 以下	50人以下	5人以下

—北海道の中小企業について教えてください。

北海道には、約15万1千社の事業者が存在しますが、その99%は中小企業です。大企業はわずか279社ですから、この中小企業が元気になるれば、北海道が活性化することは間違いありません。

中小企業の定義は、中小企業基本法によると、業種で異なり、製造業なら資本金が3億円以下か従業員が300人以下のどちらかの基準を満たせば中小企業に



北海道よろず支援拠点の中野チーフコーディネーターとコーディネーター

—相談件数、伸びていますね。

ありがとうございます。
北海道よろず支援拠点には、中小企業や創業前の方々からのさまざまな相談が寄せられており、平成26年度に1,779件だった経営相談数は平成28年度には4,371件と2.5倍になり順調に伸びているところです。札幌市にある本部では、経営相談に対応するコーディネーターを増員し、支援体制を厚くしています。

—経営相談の傾向は。

当拠点に寄せられる相談の約7割弱は、個人事業主を含む小規模事業者からの相談です。また、創業前の方も2割を占めています。
こうした方々から、売上拡大に向けた商品開発や現場の改善指導、各種補助金の申請方法などの相談をお寄せいただくことが多くなっています。

—今後の展望は。

相談件数は増えていますが、経営課題を抱えていても相談先がわからない中小企業や創業前の方はまだ多いのが現状です。
まだまだ北海道よろず支援拠点の存在を知っていただけていない方も多いため、今後、セミナー開催などを通じ積極的な広報を行うことによって、事業者の方々を知っていただき、一度でも相談してみようと思っただけのような努力が必要だと思っています。
また、よろず支援拠点だけで、道内15万1千社の経営課題を解決することはなかなか現実的ではありません。
よろず支援拠点に相談を寄せいただくきっかけも商工会・商工会議所や金融機関など、中小企業支援機関からの紹介が半数以上を占めており、事業者の

方々にとっての身近な中小企業支援機関の皆様のご存在の大きさを日ごろから感じています。

道内で多くの中小企業の経営課題を解決するためには、こうした地元へ根付いた支援を行う中小企業支援機関の皆様との連携が必須であり、最も重要だと考えています。

これからも少しでも中小企業支援機関の皆様へ頼られる存在になれるよう、取り組んでいければと思っています。

—ありがとうございました。



利き手
公益財団法人北海道中小企業総合支援センター
経営支援部経営支援G次長 塚崎 敏久

株式会社やしの木

仕事と子育ての両立

資格を生かし企業主導型保育施設開設



企業主導型保育施設「やしの木」の外観。

事業内容

平成 29 年 6 月に函館市内に企業主導型保育施設「やしの木」を開設。企業主導型施設の開設は函館市内では初めてで、保育士などの有資格者を含む従業員 4 名で施設を運営している。

相談内容

「仕事と子育て両立の難しさ」に直面し、創業計画書策定や資金計画・調達先などに悩んでいた。保育士として資格を活かし、「育児に追われる親たち」のためにも企業主導型保育施設の開設を決意。「女性・若者起業家セミナー & 相談会」終了後のよろず支援拠点相談会に参加し、収支計画や資金計画、調達先の確保などについてアドバイスを受けた。

支援内容

収支計画の作成における留意点や経費計画におけるポイントを助言し、フォローアップを実施した。助成金については、行政書士と連携し、助成金相談担当窓口と連絡を取りながら申請をサポートし、交付が決定した。金融機関からの借入に際し、相談者に対しては面談時の留意点と説明のポイントを助言した結果、地元金融機関から創業資金の借入ができ、平成 29 年 6 月に施設をオープンした。

<株式会社やしの木>

代表者 代表取締役 高橋 明日香
住 所 函館市美原 1 丁目 16-2
業 種 保育所
ホームページ

<https://www.facebook.com/yashinoki0411/>

支援にあたって

よろず支援拠点への相談により事業計画を作成した後、助成金申請・採択、融資申込・借入と上手く行政、金融機関につなげることができ、資金調達をスムーズに進めることができました。



やしの木では行事などの活動も取り入れ保育を行っています。

事業内容

代表者は、カナダで取得したビール醸造の技術を活かして、地ビールメーカーに勤務。道産ホップを使った道産地ビールを製造する事業を目指し、独立。平成29年1月に同社を設立し、上富良野町に工場建設を進めている。

相談内容

金融機関を通じよろず支援拠点を紹介され、平成28年11月に相談。実行可能な投資・資金調達計画の策定や工場施設の賃貸交渉などが課題であった。また、工場の基本設計・実施設計なども遅延し、事業進捗に支障が生じていた。

支援内容

投資内容の精査のアドバイスをを行い、投資額を圧縮。日本政策金融公庫、北海道の創業融資の活用、北海道中小企業総合支援センターの設備貸与制度の活用などにより事業計画を完成させるとともに、よろず支援拠点の仲介でバンクミーティングを開催した。クラウドファンディングでの事業説明や返礼品の考え方についてアドバイスをを行い、クラウドファンディングを実施し、2,500万円の資金を集めることに成功した。工場施設を確保し、工場の基本設計・実施設計の業者とのコンタクトをサポートし、平成30年6月の稼働開始を目指し、事業を進めている。

< 忽布古丹醸造株式会社 >

代表者 代表取締役 堤野 貴之
住 所 江別市野幌代々木町37番地8
業 種 酒類製造業
ホームページ

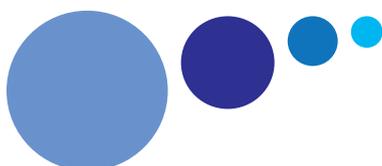
<https://www.facebook.com/HOPKOTAN/>



会社のロゴ。ホップをアイヌ民族の紋様であしらったデザイン。

支援にあたって

最初の相談から、さまざまな紆余曲折を経て、融資実行までに1年以上もかかる難しい案件でしたが、工場開設への道筋がついて本当に良かったです。



忽布古丹醸造(株)代表の堤野さん。



忽布古丹醸造株式会社

Sun

念願の子供衣料品店をオープン



子供服セレクトショップ「Sun」。

事業内容

代表者は、学生時代から衣料品店の経営に興味があり服飾専門学校に入学し、洋服の基礎知識を学んだ。専門学校に在学中から自分の店を持ちたいと云う強い思いがあり、卒業後アパレル関連企業に十数年間勤務した後、独立開業した。

相談内容

独立開業を目指し会社を退職し、ハローワークに相談したところ、よろず支援拠点を紹介された。出店場所の選定と採算性を検証しながら事業計画書の作成と出店に要する資金の調達先の検討が必要であった。

支援内容

家賃等の出店条件から採算性を検討し、出展候補先の絞り込みを行った。出店条

件を基に売上根拠・経費を検討し初年度と2年目の月別収支計画書を作成した。併せて5年間の収支計画書、1年間の資金繰り計画表を作成したほか、エリア商圏の調査結果を事業計画書に加味し金融機関に提出した結果、創業融資を受けることができた。開業後も定期的に店舗へ出向き現場指導を行い、月別売上高を確認しフォローアップを実施している。

< Sun >

代表者 代表 高野 敬輔
住 所 札幌市白石区東札幌3条1丁目1-1
ラソラ札幌Aタウン
業 種 衣料品小売業

支援にあたって

開業に向けての検討事項を洗い出し、やるべきことを明確にしました。特に、出店地の選択と出店先の家賃等条件を精査したことにより、最適な物件に出店することができました。



Sunの高野代表。

事業内容

福祉施設に併設するカフェの運営経験を活かし、独立して室蘭市内に空き店舗を改装したカフェをオープンした。店名にある「ねうねう」とは平安・鎌倉時代に使われていた猫の鳴き声の擬音語であり、店内には猫グッズがさりげなく使われている。

相談内容

カフェ運営を離れた後も充足感が忘れられず、カフェのかつての常連客からの復活を望む声もあり創業を決意した。室蘭商工会議所へ相談したところ、室蘭創業支援ネットワークとして連携実績があるよろず支援拠点を紹介された。創業にあたって、店舗物件探しから資金調達など事業計画策定をはじめ、創業・経営に関する基礎知識の習得など多くの課題があった。

支援内容

季節要因を考慮した年間、月間、週間の売上高を検討し、年間の収支計画を作成した。カフェ運営の経験を活かし、日替わりランチやスイーツ、ニセコ高野珈琲店のブレンドを核としたメニュー構成を作成した。金融機関への事前相談に向けての資料作成をサポートし、融資が決定した。また、室蘭商工会議所による家賃助成等のバックアップもあり、平成29年10月11日に「Café ねうねう」をオープンすることができた。

< Café ねうねう >

代表者 代表 河澄 由美
住 所 室蘭市白鳥台 5-3-24
業 種 飲食店
ホームページ
<https://www.facebook.com/cafe.neuneu/>



外観はシックでアーティスティックな風情が豊かです。ドアを開けるまでのワクワク感があふれ気持ちが高ぶります。

支援にあたって

「当初、カフェオープンは自分一人の力では絶対に成し得ない状況にありましたが、よろず支援拠点に相談したことにより、現在の結果に導いていただいたと思っております。」とコメントをいただいています。

訪れたお客様にゆっくりと頂けるよう落ち着いた雰囲気店内。店名の由来でもある猫が随所にあしらわれ、ゆったりとした空間を彩ります。

室蘭創業支援ネットワークとよろず支援拠点が連携し カフェ開業を支援



Café ねうねう



Otete to Otete

Otete to Otete

Otete to Otete

療養中の子供向け医療用衣類の事業化



福祉イベント等で展示販売ブースを設けることもあります。不定期開催ですが、実際に手に取って見ることが出来るので好評です。

事業内容

家族の病気がきっかけで、病気療養している子供達と接点を持つようになった。その際に子供達の医療用衣類の機能性だけを重視したデザインに疑問を抱き、デザイン関連の勤務経験を活かし、病気療養中の子供達がおしゃれを楽しめるデザイン性のあるファッション衣料の制作を始めた。

相談内容

制作した子供向け医療用衣類は、「北海道福祉のまちづくり福祉用具部門」で表彰され、新聞やテレビ、ラジオなどのメディアでも取り上げられている。メディアの反響により問合せも受けるようになり、今後どのように進めていけばよいか悩んでいたところ、知財総合支援窓口の相談会でよろず支援拠点を知った。

支援内容

売上計画について意見交換を行い、原価率や販売予測を検討し、計画を作成した。商品はニッチ市場のものであるが、全国に広がる可能性があるため開設済みのSNS(instagram) 経由で遠方からも注文が入ってきている。今後は、HP 構築や販促活動を検討し、多くの方に製品を知っていただく取り組みを進める。

< Otete to Otete >

代表者 代表 橋本 久美子
住所 札幌市東区北 38 条東 2 丁目 2-7
業種 衣料品製造業
ホームページ
<http://otete-to-otete.com/>

支援にあたって

市場はニッチですが、地域に限定されないため、Web を活用した取り組みに親和性が高いです。相談者様も一生懸命に判らない所を「よろず」で整理し、自力でコツコツと課題に取り組んでいます。



Otete to Otete 代表の橋本さん。

事業内容

平成 29 年に北海道大学の卒業生や道内生産者が同社を設立し、JR 札幌駅から徒歩 5 分圏内の好立地にある大学構内の百年記念会館にレストランと売店「北大マルシェ Café & Labo」をオープンした。北海道大学で生産される生乳や農産物を活用したメニューや加工品などを提供・販売している。

相談内容

北海道大学の牛乳を活用した加工場とレストランを整備する構想について、安定生産と品質維持が課題となっていた。このほか、レストランの看板メニューとなるピザやハンバーグに使用するモッツアレラチーズの開発と生産体制の確立や、プロモーション方法なども課題となっていた。

支援内容

飲食業や食品加工業に必要な営業許可取得から機器等の整備、マーケティング、加工技術、食品衛生など様々なアドバイスをを行った。原料生乳～加工～製品化に至る一連の加工技術や食品衛生について現場指導と情報提供を行ったほか、北海道中小企業総合支援センターの北海道中小企業応援ファンド事業を活用し、ロゴのデザインや広報などを行った。

<株式会社北海道農村研究所>

代表者 代表取締役 大黒 宏
住 所 札幌市中央区北 9 条西 6 丁目
北海道大学百年記念会館
業 種 食堂・レストラン
ホームページ
<http://www.marche-cafelabo.com/>



【ハンバーグランチセット】有機栽培の作物や北大の牛乳を使った乳製品がふんだんに使われたメニュー構成。

支援にあたって

北大には日本で初めて導入されたホルスタイン種の血統がいまも引継がれていて、放牧酪農の研究を行なっています。新しい大学ブランドの開発・発信拠点として期待しています。

【カフェ外観】草花や樹木に囲まれた静かな佇まい。四季折々の風景の中でゆっくりとくつろげる。

北大マルシェ」レストラン・売店をオープン

HOKUDAI MARCHÉ

Café & Labo

入口は
← あらです

株式会社北海道農村研究所



有限会社白崎菓子店



後継者の創意工夫による売上拡大

事業内容

札幌市内の桑園地区の洋菓子店。根室市の老舗洋菓子店として長らく営業していたが、5年前に根室市から札幌市に店舗を移転して着実に売り上げを伸ばしている。社長が高齢のため、息子への事業承継を検討している。

相談内容

よろず支援拠点へメール相談があった。事業承継にあたり、事業の方向性の検討や店舗の運営体制の見直しが必要であり、事業承継の方向性を定め、併せて売上拡大にも取り組みたいとのことであった。

どのような支援を行ったか。

事業承継については、後継者のヒアリングを行い、意向を把握した。また、新商品開発に取り組み、今後の商品構成について検討を行ったほか、売上データを活用した販売促進の方法についてアドバイスした。ミラサポを活用し、洋菓子店経営者の専門家を派遣を実施し、ケーキ、焼き菓子の製造・販売方法について支援を行った。後継者が会社を継ぐことを決意し、積極的に商品開発・販売促進に取り組み、売上増加につながっている。

<有限会社白崎菓子店>

代表者 代表取締役 白崎 純治
住 所 札幌市中央区北9条西19丁目35-57
業 種 菓子製造・小売業



ショーケースの前にて、白崎社長と後継者の息子さん。ショーケースには一番人気のシフォンケーキなどが並ぶ。

支援にあたって

事業承継から商品開発まで多岐にわたる相談に対応に対して感謝の言葉をいただきました。相談後順調に売上高を伸ばしており、今後の展開が楽しみです。

目で見るとよろず支援拠点 ～ vol.1 ～

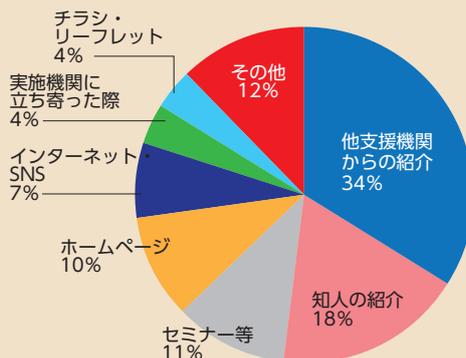
北海道よろず支援拠点に相談に足を運ぶ中小企業・小規模事業者。彼らは一体何をみて、どのようなきっかけで北海道よろず支援拠点に相談しようと思ったのだろうか。相談を寄せた中小企業・小規模事業者に、相談に至ったきっかけを聞いてみると、意外や意外、ホームページやインターネットを通じて知ったと答えた方は全体の2割弱しかいない。では、何が一番きっかけとして多いのかというと、それは商工会・商工会議所や金融機関などからの紹介だ。

右の図を見ていただくと、他の支

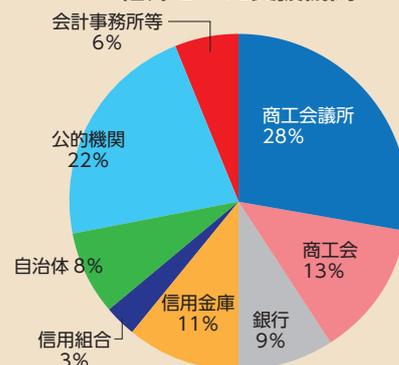
援機関からの紹介が、約4割と最も多いことがわかる。中小企業支援機関からの紹介元を詳しくみると、商工会議所・商工会や金融機関のほかにも、自治体や公的機関、会計事務所など

から相談の紹介がある。なるほど、北海道よろず支援拠点は、まさに中小企業支援機関に支えられ、北海道で経営相談業務を行っていると言える。

相談のきっかけ



紹介された支援機関



日乃出食品株式会社

老舗豆腐メーカー商品の再ブランド化



自社独自で開発した機械設備を多数擁する本社工場。生産能力及び衛生管理の向上に日々工夫を重ねています。

事業内容

昭和4年創業の老舗豆腐メーカー。地域の食料品スーパーなど多くの取引先を有しているほか、商品は学校給食などにも使われている。

代表者は、業界動向や市場動向などを熱心に研究し、高品質な商品づくりを追及しているほか、中学生向けに製造体験を実施するなど地域に根差した企業活動に取り組んでいる。同社の「やっこさん豆腐」は、充填ブロー容器により長期保存できるよう独自に開発した商品で、看板商品となっている。

相談内容

主に中高年層に支持されている「やっこさん豆腐」については、若年層や域外から転居してきた住民には馴染みが薄く、売り上げも伸び悩んでいた。パッケージデザインの見直しを含めた再ブランド化

が課題であった。

支援内容

再ブランド化に向けて、商品の独自性・強み・差別化のポイントを整理し、ターゲット層の購買動機を深掘りした上で、キャッチコピー、現パッケージの改善点等について、検討、アドバイスをを行った。工場長や営業責任者、女性従業員も加わり、全社的に協議・検討を重ね、新しいターゲット層である若年層にアピールできるシンプルなパッケージが完成。新規取引先の開拓につながるなどの効果があった。

<日乃出食品株式会社>

代表者 代表取締役社長 工藤 英洋
住所 亀田郡七飯町緑町3丁目2番1号
業種 食料品製造業
ホームページ
<http://www.yakkosan.com/>

支援にあたって

「最初はパッケージ変更の相談だったが、商品開発の重要な考え方や手順を学ぶことができ大変良かった」とコメントをいただいています。毎月定期的によろず支援拠点を利用し、長期的に取り組んだことが成功につながりました。



新パッケージは他社との差別化された特長が明確になりました。容器の開け方を裏面で分かり易くイラストにするなど工夫されています。

事業内容

平成 23 年 9 月に株式会社を設立。設立以前から岩内町で数の子の加工販売を長年行う。岩内町の数の子の歴史を知り尽くした上で、数の子の通年普及商品の開発に取り組み「ニシンと数の子の町」としての伝統を引き継ぐ。

相談内容

「ニシンと数の子」の伝統を引き継ぎ、北海道産原料に拘った商品開発、販路拡大の相談があった。道産原料に拘った数の子の特性を生かした数の子入りドレッシングを開発しており、販売先などのマーケティング、価格の決定、デザイン上のコンセプトについてアドバイスをを行った。

支援内容

開発した「数の子入りドレッシング」は、岩内町の特産品として販売している。サラダ、卵かけご飯、小籠包などに合う商品で、道産原料使用登録商品となっている。特産品として、地元の物産館・道の駅、百貨店、高級スーパー、ギフトなどの販路開拓に取り組んでいる。



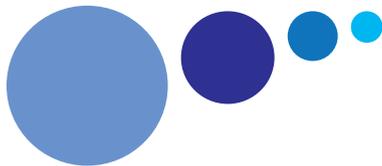
数の子入りドレッシング「黄金ダイヤ・煌・ノンオイルドレッシング」

<株式会社まるりょう野澤商店>

代表者 代表取締役 野澤 幸平
住 所 岩内郡岩内町字相生 194 番地
業 種 食品製造業
ホームページ
<http://nozawa-syouten.com/>

支援にあたって

同社は、岩内町で数の子の製造販売を手掛け、地域の名産品として普及しています。昔、地域でよく食べられていた「乾燥数の子」も製造しているほか、海洋深層水を活用するなど地域振興にも努めています。



株式会社まるりょう野澤商店

余市ワインと醤油味の数の子入りドレッシングを開発



株式会社まるりょう野澤商店

株式会社ブロッサム

東京に「十勝銀龍苺代官山店」をオープン



新鮮で鮮やかな銀龍イチゴと大福、タルトとの絶妙なコラボ。

事業内容

十勝の気候風土に合わせた温度、湿度、照度など苺づくりを独自に研究し十数年の試行錯誤を繰り返し、品種「さがほのか」を使用した銀龍苺を完成させた。音更町で周年栽培し、23棟のハウスによる大規模な高級苺生産を行っている。

相談内容

海外進出や知財の相談をきっかけに、国内及び海外の販路拡大や物流など多岐にわたる相談対応を行っている。国内での販売の増加とシンガポールなど海外展開が課題となっている。

支援内容

海外展開については、物流コストの軽減のためにスクート航空貨物での輸送などをアドバイスし、シンガポールに新会社を

設立した。

平成29年12月18日に代官山（東京都渋谷区）に、銀龍苺のほか、苺大福や苺タルト、オリジナルソフトクリームなどを販売する「銀龍苺代官山店」をオープンした。

<株式会社ブロッサム>

代表者 代表取締役 齋藤 伸二
住 所 河東郡音更町字下音更北5線西17号
業 種 飲食品小売業
ホームページ
<http://ginryu.hokkaido.jp/>

支援にあたって

全国でも珍しい通年生産出荷できる北海道産の「銀龍苺」を武器にして東京進出に成功しました。今後は、他の道産品とコラボして東南アジア等への事業展開を目指しています。



代官山にふさわしいおしゃれな看板。

事業内容

ホテルに勤務していた現代表が独立し、中標津町の研究施設が製造していた「飲むヨーグルト」と「アイスクリーム」を引き継ぎ、中標津町の良質な生乳を原料とした乳製品を製造する工房を平成4年に設立した。

相談内容

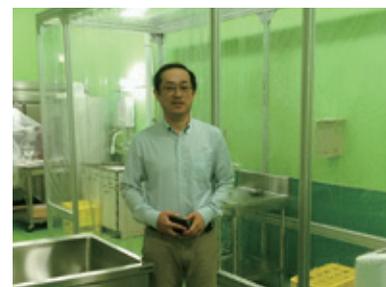
事業は安定的に伸長しているが、冬場対策及び海外展開のための商品開発が課題となっていた。また、原料の一部である脱脂粉乳の調達が年々困難な状況になっており生乳のみで作るヨーグルトの開発が急務となっていたため、ブランディング構築と併せて商品開発の相談があった。

支援内容

脱脂粉乳を使用しないためには水分を抜く技術が不可欠となるため、試行錯誤を繰り返すが同社の技術では解決が困難であり、水抜きが大きな課題となっていた。技術的な課題を克服すべく北海道中小企業総合支援センターのハンズオン支援事業等による専門家の助言を得ながら技術的な課題を克服した。平成29年末に古代製法による水抜きヨーグルト（ギリシャヨーグルト）として商品が完成した。

<有限会社ラ・レトリなかしべつ>

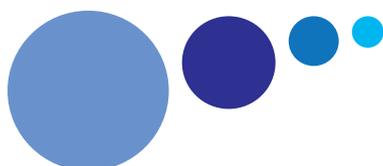
代表者 代表取締役 近野 了
住 所 標津郡中標津町北中9番17
業 種 食料品製造業
ホームページ
<https://www.laiterie.co.jp/>



脱酸素剤を使用しないため、工場内に新たに設置したクリーンルーム。

支援にあたって

技術的な課題解決に向けて専門家派遣等も活用して約3年間の歳月を費やし、よろず支援拠点への相談を契機によりややく製品化を実現。「相談をしていなければ途中であきらめていたかも知れません」とコメントをいただいています。



完成した古代製法によるヨーグルト。

独自製法のヨーグルトを開発



有限会社ラ・レトリなかしべつ

L'oro rosso (ロロ Rosso)

道産注目素材を使用した

女性向けのメニュー開発



開発した地産地消メニュー「豚ヒレ肉のポルケッタ」

事業内容

代表者は、ホテルで洋食の経験を積んだ後、単身イタリア・トスカーナに渡り本場でイタリア料理を修業した。帰国後、静岡県のレストラン等を経て、平成26年に札幌の狸小路商店街に、トスカーナの郷土料理に独自の感性でアレンジを加えた料理が楽しめるお店「L'oro rosso」をオープン。

相談内容

公認会計士の紹介でよろず支援拠点に相談する。オープン後の将来的なビジョンを踏まえた資金繰りや損益計算などのアドバイスを受け、経営上の問題点を整理した。リピーターも増え、順調に売り上げを伸ばしてきたが、更なる認知度の向上を目的とした新メニュー開発が課題であった。

支援内容

女性客が中心であることから美容健康につながるもの、お店のコンセプト「付加価値としての地産地消」を考慮し、SNSなどの口コミ効果が期待できる話題性のあるメニューづくりを提案した。その結果、酸味の強いシーベリーをシロップ漬けにしたソースを使ったイタリアの伝統料理「豚ヒレ肉のポルケッタ」の開発につながった。季節限定メニューとして提供したところ好評を得ており、売り上げ拡大とともに話題づくりに貢献した。

< L'oro rosso (ロロ Rosso) >

代表者 代表 和田 英之
住所 札幌市中央区南2条西1丁目
広和ビル No.21 2F
業種 イタリア料理店
ホームページ
<https://www.lororosso1003.com/>

支援にあたって

「とても相談しやすい雰囲気で、過去に経営だけでなく店内 BGM や服装に至るまで様々な相談をした。今回は女性のお客様に響くメニュー開発ができとても嬉しく思っている。また相談に伺いたい。」とのコメントをいただいています。



L'oro rosso (ロロ Rosso) 店内

事業内容

洞爺湖町で精肉・加工品販売業を営んでいる。将来的な事業承継を見据え、後継者が経営の勉強中であり、店舗における加工・販売に取り組んでいる。

相談内容

コーディネーターが講師を務めたセミナーに参加し、よろず支援拠点を知った。商品の価格設定やホームページによる情報発信、将来的な営業展開などについて相談があった。看板商品「ぐる巻きソーセージ」の売上拡大に向けた価格、パッケージ、ネーミング、販促などの改善策、経営者として習得すべき知識、事業拡大に向けての資金調達などが課題であった。

支援内容

売上拡大に向けた客単価アップ方法、ターゲットの明確化とHP見直し、ネーミング、資金調達方法などについてアドバイスし、事業計画を作成した。

ぐる巻きソーセージは百貨店でのイベントや道の駅などでも好評で、単品売りの単価を割高に設定しても売上は落ちなかった。取り扱い店舗も10社ほど増え売上も着実に上がっている。

知財関連、ネット通販、取引先との条件交渉など様々な相談を継続することで、向学心が旺盛になり研修や資格習得に積極的に取り組むようになった。

＜お肉屋さんたどころ＞

代表者 代表 田所 勇次

住所 虻田郡洞爺湖町旭町 5-1

業種 食肉小売業

ホームページ

<http://niku-toyako.shop-pro.jp/>



JRの洞爺駅近くの車窓からも目に付く店舗。洞爺湖の町民からも親しまれています。

支援にあたって

「精肉店に関する知識以外の専門的な知識を教えて頂き、経営をする上で先生のような存在」とのコメントをいただいています。「よろず」という名称通り、ジャンルを問わず気軽にご相談いただいた結果が成功につながったと思います。

洞爺湖の特産品として SNS で「美味しい!」と口コミで拡散され続けている代表商品。豚肉 100%の本格荒挽きソーセージ。

北海道産豚肉
100%

炭火焼

元祖

ぐる巻き
ソーセージ

後継者のアイデアを活かした販売促進

お肉屋さんたどころ

札幌市東区の本社社屋。同市内のテクニカルセンターのほか、横浜、福岡、熊本に支店があります。

株式会社セラビ

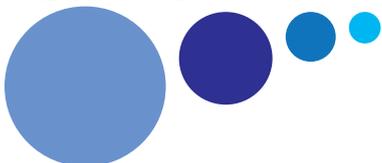
業
客拡大に伴う経営管理体制の見直し

事業内容

オフィス向けリサイクルトナー事業（カートリッジ回収、再生、販売、アフターサービス）のほか、情報セキュリティ事業（データ消去サービス、機密文書破砕処分サービス、産業廃棄物処分サービス、データ復旧サービス、中古パソコン販売）、オフィスのLED照明化を行っている。

相談内容

「一日中小企業庁」（札幌市）に来場したのが相談のきっかけ。創業から20年以上が経過し、業績は堅調であるが、企業としては次のステージへステップアップする時期である。競合の増加や一部企業の純正品への回帰など外部事業環境の変化もみられる。今後も成長し続けるために、営業活動の強化に加えて経営管理体制の確立とマネジメント層のレベルアップが課題となっている。



どのような支援を行ったか。

毎月、相談対応を行い、1か月間の取り組み状況の報告、問題点の検討、次の取り組みへのアドバイスをを行った。組織体制、人事評価制度、給与制度を再構築することになった。併せて、時間外労働の管理方法、部門別予算編成、権限移譲と責任の明確化、採用プロセスの明確化、経営層と社員のコミュニケーション等の改善に取り組んでいる。

<株式会社セラビ>

代表者 代表取締役 時岡 一秀
住 所 札幌市東区本町1条9丁目2番4号 セラビ東ビル
業 種 リサイクル事業
ホームページ
<http://www.selavie.co.jp/>



本社オフィス。環境や地域社会へ貢献する企業として職場環境にも配慮しています。

支援にあたって

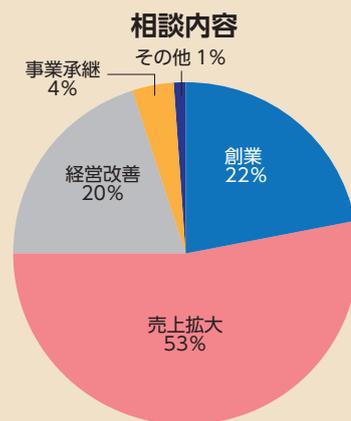
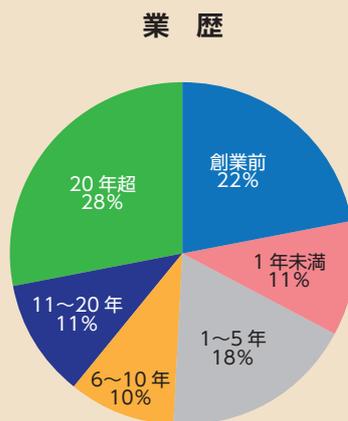
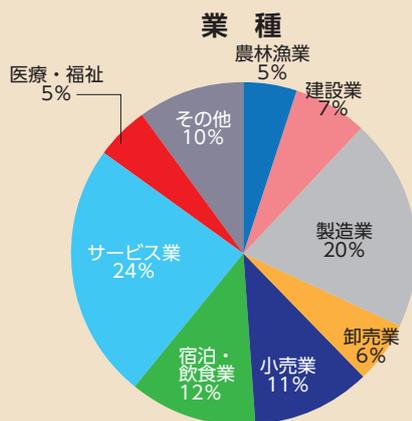
毎月の相談を通して課題を明らかにし、現場で取り組めるレベルに落としていきました。次の相談までに着実に実行に移したことが良い結果を生んでいます。今後もサポートを継続していく予定です。

目で見ると支援助点 ～ vol.2 ～

北海道よろず支援助点への相談者についてみると、業種については、最も多いのがサービス業（24%）、次いで製造業（20%）、宿泊・飲食業（12%）となっているが、幅広い業種の方に利用され

ているのがわかる。また、業歴をみると「20年超」が28%と最も多く、次いで「創業前」が22%、「1～5年」が18%となっている。創業5年以内の相談者が約半分を占めているが、創業前か

ら老舗企業まで業歴に関わらず利用されている。相談内容を見ると「売上拡大」が53%と最も多く、次いで「創業」が22%、「経営改善」が20%、「事業承継」が4%となっている。



晴 café

ITを活用した 低糖質スイーツ製造・販売の業績管理

商品は相談者自身と共同経営者の家族が体験した糖尿病治療から生まれたもの。日々の暮らしに健康と潤いを与えてくれるお菓子作りを目指している。

事業内容

代表者は十勝で約10年間、カフェおよび料理教室を経営していた。平成28年から新たに共同経営者とともに糖質を気にしている人でも安心して食べられる低糖質スイーツの製造・販売を行っている。

相談内容

これまで商品開発及び販売に注力してきたが、導入された販売管理ソフトが活用されておらず業績管理が不十分な状況であった。今後の販路拡大に向けて、販売管理ソフトを現状把握と計画策定に活用する方法について相談があった。

支援内容

相談者の課題を把握した上で、ミラサゴによるITコーディネーターの専門家派遣を通じて、販売管理ソフト活用の具体的な

手法、原料及び包材のExcelによる管理手法、販売管理ソフト活用に必要な基本設定などについてアドバイスをを行った。これにより実績データの把握が可能となり、販売活動に活用することができるようになった。

<晴 café>

代表者 代表 景山 善美
住所 帯広市川西町西2線57-28
業種 菓子製造・小売業
ホームページ
<http://haru-cafe.com/>

支援にあたって

相談者は創業当初より「補助金情報の収集」、「販売先の検討」など、北海道よろず支援拠点を活用してきました。「これからも困ったことがあれば、よろず支援拠点のサポートを積極的に受けたい」とのコメントをいただいています。



店舗は相談者の自宅の一部を利用している。そこで製造から販売、梱包、発送まで様々な作業が行われている。

事業内容

浦河町で昭和29年から公衆浴場を営んできた。昭和48年に浴場建屋を新築し2階にサウナと家族風呂を設置、さらに、風呂利用者への飲食提供として平成8年ラーメン店を1階にオープン。平成20年、日高昆布など日高の豊富な地域資源の食材を活用した「浦河餃子」(冷凍流通)を開発。その後、「日高昆布ラーメン」、「海と山のめぐみだし」を開発・販売している。

相談内容

新事業「自然体験ガイドツアーと宿泊事業」を立ち上げるにあたり、北海道よろず支援拠点に相談した。併せて、事業承継についても相談した。アドバイスにより中小企業等経営強化法に基づく経営革新計画を策定し承認を得たほか、北海道中小企業総合支援センターの伴走支援により事業承継補助金事業に採択された。

支援内容

資金調達についてアドバイスをを行い、地元金融機関から融資を受けることができた。「北海道日高の旅ぐらし」をコンセプトとし、共有スペースを備えた宿泊施設「ゲストハウス MASAGO」をオープン。中期・長期滞在客をはじめ、根強い浦河のファンづくりや、さまざまな人の交流の場となることを目指している。

また、事業承継については、中小機構と連携し、事業承継アドバイザーが代表者変更や株式譲渡などの事業承継手続きに関するアドバイスをを行った。

<有限会社まさご>

代表者 代表取締役 大久保 直幸
住 所 浦河郡浦河町東1丁目11-1
業 種 公衆浴場、食堂、食料品製造、簡易宿所

ホームページ

<http://www.gh-masago.com/>



地元デザイナーの意見を取り入れ、浴室だった際のタイルなどをデザインに取り込んでいる。

支援にあたって

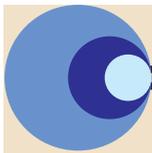
「行政・町民・支援機関の皆様にお力添えいただいてゲストハウスを開始することができた。これからも地域社会に根付いた活動としたい」とのコメントをいただいています。地域の活性化に寄与する取り組みです。

銭湯兼ラーメン屋の2階にある、長年町民に親しまれてきた家族風呂を改装し、地元のクリエイターの手によってぬくもりある空間に生まれ変わった。

認定支援機関とよろず支援拠点が一体となり、事業承継と資金調達を支援



有限会社まさご



北海道よろず支援拠点 実施機関について



北海道中小企業総合支援センターが入居する北海道経済センタービル



北海道よろず支援拠点を運営する北海道中小企業総合支援センター

<北海道よろず支援拠点実施機関> 公益財団法人北海道中小企業総合支援センター

住 所 札幌市中央区北1条西2丁目 経済センタービル9階

理事長 伊藤 邦宏

TEL 011-232-2001(代表)

URL <http://www.hsc.or.jp/>

センターの役割

(公財) 北海道中小企業総合支援センターは、北海道における中小企業の総合的支援機関として設立され、道内中小企業の支援を行っております。

技術開発助成、資金供給、経営コンサルティング、市場開拓、人材育成などの事業のほか総合相談窓口を設け、中小企業の経営革新をはじめ、創業やベンチャー企業の育成さらには新事業創出などの業務を行っています。

よろず支援拠点による支援

北海道よろず支援拠点では、札幌本部のほか北海道中小企業総合支援センター支部(6か所)内に地域拠点を設置し、中小企業・小規模事業者が抱える様々な経営課題の解決に向けた支援を行っています。

地域拠点に専任のコーディネーターを配置し、必要に応じてセンター事業を活用しながら、よろず支援拠点とセンターが一体となってきめ細やかな支援に取り組んでいます。

センターの事業メニュー (平成 29 年度)

総合相談
<ul style="list-style-type: none"> ●経営相談窓口 ●インターネット経営相談 ●専門相談窓口 <p>(知的財産・下請かけこみ寺・会社法等・金融)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●よろず支援拠点事業
コンサルティング
<ul style="list-style-type: none"> ●専門家派遣事業 ●ミラサポ ●アドバイザー等招へい支援事業 ●特別診断事業 ●高度化事業診断 ●地域資源活用型ハンズオン支援事業
創業
<ul style="list-style-type: none"> ●加速的創業促進支援事業 ●地域応援!女性・若者起業家育成支援事業
新製品・新技術開発
<ul style="list-style-type: none"> ●市場対応型製品開発支援事業 ●産学連携等研究開発支援事業 ●産業クラスター形成促進事業 ●地域資源活用型事業化実現事業 ●業界間連携による自動車・食関連機械分野の製品開発モデル事業
6次産業化
<ul style="list-style-type: none"> ●6次産業化支援体制整備事業 ●北洋6次産業化応援ファンド

マーケティング
<ul style="list-style-type: none"> ●マーケティング支援事業 ●展示会等出展支援事業 ●取引あっせん ●商談会(道内・道外) ●地域ブランド販路拡大支援事業 ●ビジネスマッチング事業 ●ベンチャーシーズマッチング事業
設備導入・制度融資あっせん
<ul style="list-style-type: none"> ●小規模企業者等設備貸与事業 ●中小企業総合振興資金の融資あっせん
人材育成・確保
<ul style="list-style-type: none"> ●産業人材育成支援事業 ●プロフェッショナル人材センター運営事業
海外展開
<ul style="list-style-type: none"> ●中小企業等外国出願支援事業
事業承継
<ul style="list-style-type: none"> ●北のふるさと事業承継支援ファンド ●事業承継サポートネットワーク形成事業
情報提供
<ul style="list-style-type: none"> ●支援制度ナビ ●支援制度ガイドブック ●メールマガジン ●各種データベース

北海道よろず支援拠点はこちら

「よろず支援拠点」は、中小企業庁が実施する経営相談窓口で、平成26年度に各都道府県に設置されました。

地域を支える中小企業・小規模事業者等の業績改善を通じて地域活性化を目指す、無料の相談窓口です。

みなさまが抱えるさまざまな経営課題、例えば、「売上を拡大したい」、「生産性を向上させたい」、「起業・創業したい」、「資金繰りを改善したい」、「労務・雇用について相談したい」、「事業再生について相談したい」、「事業承継を検討している」、「海外進出を狙っている」…などに対し、専門のスタッフが常駐して対応し、みなさまと一緒に解決策を考えます。

出前相談会も無料で承ります

北海道よろず支援拠点では、商工会・商工会議所や金融機関などの中小企業支援機関、自治体、事業協同組合などのみなさまを対象として、コーディネーターを派遣して出前相談を行っています。

出前相談にあたっては、セミナーなども併せて行うこともでき、例えば、以下のようなテーマから自由に選んでいただくことも可能です。

○事業承継

「事業承継を計画的に取組むためには？」
「税制改正でもっと得する!事業承継施策セミナー」
「借金がある個人事業主のための跡継ぎ対策セミナー」

○創業

「プチ起業・小商いのすすめ」
「教えます。創業から生き残るコツ」
「創業計画 & 創業の資金調達セミナー」
「女性創業のための3つの心得」

○IT利活用

「Google検索で上位表示されるためのポイント」
「ITを使って生産性を向上させる」
「すぐに取り掛かれる自社ホームページを作ろう」
「人手不足に負けない。簡単なIT利活用術」

○人手不足・働き方改革

「個人事業主も取り組める働き方改革のススメ」
「今一度見直してみよう。働き方改革を考える」
「人材不足解消!人が集まる良い会社とは」

○広報

「取材したくなる!プレスリリース・広報セミナー」
「効果的なチラシを作るための5つの法則」
「必見!ビジネス用 SNS 活用の仕方」

○売上拡大

「新しい販路の探し方。販路開拓セミナー」
「バイヤーの心に響くモノづくりとプレゼン手法」
「強みがない人はいない。自社の強み再発見セミナー」

○税務・法務

「確定申告書作成のポイントと、経営への活かし方」
「債権回収に必要な知識セミナー」
「弁護士に学ぶ!クレーム対応のノウハウ」

○海外関連

「輸出が簡単にできる方法 !!」
「インバウンドを取り込む方法を学ぼう」

○その他

「必見!飲食店のメニュー開発はこうして行う!」
「銀行との付き合い方セミナー」
「簡単かつ具体的な資金繰り表作成法セミナー」

受け付けにあたっては、相談申し込み先にお電話いただくか、出前相談会開催申込書に必要事項をご記入の上、事務局まで FAX もしくはメールでお申し込み下さい。後日、担当者から連絡させていただきます。



コーディネータープロフィール

チーフコーディネーター 中野 貴英

銀行の事業調査部で業界調査や企業診断を担当し、その後、経営コンサル会社を経て、平成 19 年に経営コンサルタントとして創業。様々な経営課題解決の実務経験を活かし、平成 26 年度より北海道よろず支援拠点コーディネーターに就任。これまで支援した企業数は 3,000 社を超える。

コーディネーター 奥山 倫行

弁護士。企業法務全般のほか、知的財産権、債権回収、事業承継、M&A、リスクマネジメントなどの支援経験を有する。

コーディネーター 小野寺 辰昭

地方銀行の支店、本部に勤務し、企業の経営指導に従事。行政機関と連携したものづくり関連企業の誘致、取引あっせん業務経験を有する。

コーディネーター 新宮 隆太

中小企業診断士。道内の地域活性化・商店街活性化や商品プロモーションなどの支援実績を有する。

コーディネーター 田所 かおり

野菜ソムリエ上級プロ。メーカーにて野菜の品種改良に携わった経験を活かし、農商工連携による新商品開発の支援実績を有する。

コーディネーター 田中 修身

中小企業診断士。IT コーディネーター。経営課題解決に向けた効果的な IT 導入支援の実績を有する。

コーディネーター 抜山 嘉友

加工食品の開発研究や食品企業の技術支援に従事。農商工連携や食による地域活性化の支援実績を有する。

コーディネーター 浜田 敏

中小企業診断士。経営相談や連携業務に従事。経営計画策定や公的制度活用等の支援実績を有する。

コーディネーター 深田 健司

メガバンク OB。融資業務、企業再生、海外現地法人経営等に従事する。海外展開、事業再生、創業等の支援実績を有する。

コーディネーター 蒔田 義一

地域資源を活用した農商工連携や食品関連の開発・販路開拓の支援実績を有する。

コーディネーター 松原 亮子

大手小売業でバイヤー、商品開発、海外展開などに携わり、ブランド構築プロデューサーとして独立。商品企画から販売・販促などの支援実績を有する。

コーディネーター 村形 鉄雄

中小企業診断士。IT コーディネーター。ISO9001・27001 審査員登録。IT 導入などの支援実績を有する。

コーディネーター 吉田 聡

税理士、中小企業診断士。税務相談のほか、創業計画、経営改善計画、事業承継計画の策定などの支援実績を有する。

コーディネーター 森永 勉

信用金庫 OB。中小企業診断士。資金計画、業務改善、事業再生の支援実績を有する。

コーディネーター 立野 勇喜

信用金庫 OB。融資業務に従事し、資金計画策定、資金繰りなどの支援実績を有する。

コーディネーター 尾澤 成典

信用金庫 OB。融資、渉外、監査業務に従事し、資金繰りや事業承継などの支援実績を有する。

コーディネーター 原口 勝全

中小企業診断士、農業経営上級アドバイザー。信用金庫 OB。創業支援、経営改善、事業承継などの支援実績を有する。

コーディネーター 中村 英夫

信用金庫 OB。融資業務等に従事し、創業支援、資金繰り改善、経営改善等の支援実績を有する。

北海道よろず支援拠点 概要

ご利用料金は無料です。また、ご利用回数に制限はありません。

まずはお電話・メールでお気軽にお問合わせください。

ご相談内容をお伺いし、来所のご予約を承ります。

ご来所が難しい場合は、お電話やメールでのご相談も承っております。



相談費用

無料でご利用
いただけます。



利用対象者

北海道内の中小企業・
小規模事業者



札幌本部 平日 9:00～17:30
〒060-0001 札幌市中央区北1条西2丁目 [経済センタービル9階]
TEL011-232-2407 FAX011-232-2011

道南支部 毎週火曜日9:00～17:30
〒041-0801 函館市桔梗町379番地 [北海道立工業技術センター内]
TEL0138-82-9089 FAX0138-34-2601

十勝支部 毎週火曜日9:00～17:30
〒080-0013 帯広市西3条南9丁目1番地 [帯広商工会議所内]
TEL0155-67-4515 FAX0155-67-4515

釧根支部 毎週火曜日9:00～17:30
〒085-0847 釧路市大町1丁目1番1号 [釧路商工会議所内]
TEL0154-64-5563 FAX011-232-2011

道北支部 毎週火曜日9:00～17:30
〒078-8801 旭川市緑が丘東1条3丁目1番6号 [旭川リサーチセンター内]
TEL0166-68-2750 FAX0166-68-2828

日胆支部 毎週火曜日9:00～17:30
〒050-0083 室蘭市東町4丁目28番1号 [室蘭テクノセンター内]
TEL0143-47-6410 FAX011-232-2011

オホーツク支部 毎週火曜日9:00～17:30
〒090-0023 北見市北3条東1丁目 [北見商工会議所内]
TEL0157-31-1123 FAX011-232-2011

「よろず」WEBサイト <http://yorozu.hokkaido.jp>



お問い合わせ・相談申し込み先

北海道よろず支援拠点

TEL. 011-232-2407

FAX. 011-232-2011

E-mail. soudan@hsc.or.jp

Facebookページも
あります!





経済産業省

北海道経済産業局

発行：経済産業省北海道経済産業局産業部中小企業課
北海道札幌市北区北8条西2丁目札幌第1合同庁舎
TEL：011-709-2311（内線2576）

委託機関：



公益財団法人

北海道中小企業総合支援センター